



自動スプレーガンウォッシャー

形式 UG3000DJ

取扱説明書



ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み正しくお使いください。誤った取り扱いは機械の故障や大変な事故につながります。機械を操作する前にいつでも見られるように大切に保管してください。

この度は「UG3000DJ」をご選定いただきまして厚くお礼申し上げます。

当機のご使用に際しては、この取扱説明書を熟読していただき、安全にご使用ください。

- 品質、性能向上または安全上、部品の変更を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください
- 不明な点やお気付きのことがございましたら、お買いあげ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。

目 次

| | | |
|----|------------|----|
| ◇ | ご使用になる前に | 2 |
| 1. | 仕様 | 4 |
| 2. | 製品構成と各部の名称 | 4 |
| 3. | 使用方法 | |
| | 3-1 設置と準備 | 5 |
| | 3-2 洗浄作業 | 6 |
| 4. | 保守・点検 | 8 |
| 5. | 故障と対策 | 9 |
| 6. | 構成部品 | 10 |
| ◇ | アフターサービス | 11 |

ご使用になる前に

労働災害を発生させず安全な作業をするため、次の注意事項、及び取扱方法をよく理解して必ずお守り下さい。

身体上の危険

- 1 作業中は、塗料や溶剤が体に付着したり、溶剤を吸い込んだりすることがあります。
常に適切な服装で、防護眼鏡、マスク及び手袋などの保護具を着用し、事故を防止して下さい。
- 2 洗浄液の圧送経路上で液漏れが発生した場合、直ちにタイマーを停止位置に戻し、供給空気を遮断し、ポンプの作動を止めて下さい。
- 3 換気の不十分な狭い場所での作業は、有機溶剤中毒を起こす可能性がありますので、必ず換気のよい場所で使用して下さい。
- 4 作業中、身体に異常を感じたら、直ちに医師による診断、及び治療を受けて下さい。

爆発や火災の危険

- 1 火気のある場所、またはスパークが発生する可能性がある場所は、非常に危険ですから近くでは絶対に使用しないで下さい。
 - * タバコなどの裸火
 - * ストーブ、ヒーターなどの電化製品
 - * ドリル、サンダー、及びグラインダー等の工具類
- 2 換気の不十分な狭い場所での作業は、飛散した溶剤のミストなどに引火する可能性があり非常に危険ですから、換気の良い場所で使用して下さい。
- 3 この装置にはアース線が付属していますので、アースの接地は確実に行って下さい。
アースが不十分ですと、静電気によるスパークによる爆発や火災の危険性があります。
- 4 作業終了後は、洗浄室内の洗浄液が全て洗浄液容器に回収されているのを確認して、洗浄室下のドレイン・バルブはハンドルを水平に位置にして閉めて下さい。
- 5 シンナー缶等の容器は、専用の蓋をして安全な場所に保管して下さい。

装置の誤使用による危険

- 1 指定使用圧力の範囲外で使用しないで下さい。また、供給空気中に異物や水分が入っている場合、フィルター等を装着して装置に入るのを防止して下さい。装置の作動不良、故障・破損などの可能性があり、非常に危険です。
- 2 装置の作動中は絶対に洗浄室の蓋を開けないで下さい。洗浄液が装置の外に噴出、目などに入る可能性があり、非常に危険です。
- 3 スプレーガン、塗料カップなどの塗装機器洗浄以外の目的で使用しないで下さい。

4 塗料及び洗浄液の制約

- * 水溶性の洗浄液の使用は差し支えありませんが、酸性度やアルカリ性度が強いと、装置内の金属と化学反応を起こしたり、腐蝕の原因になる可能性があります。
- * メチレンクロライド等、トリクロエタン、ハロゲン炭化水素系の液体を洗浄液として使用しないで下さい。 アルミニウム等と化学反応し、爆発等を起こす可能性があります。
- * 反応硬化形の液体塗料を使用した塗装器具の洗浄をしたい場合、事前に一度テストして問題のない事を確認してから使用して下さい。

装置内部での硬化、反応熱による装置の故障・損傷を起こすと、危険な可能性があります。

- ◇ 装置に使用されている部品の材質リストが必要な場合は、弊社本社の技術部にご連絡下さい。特殊な塗料や洗浄液を使用したい場合、適合性や耐久性を十分に検討し装置に悪影響がない事を事前に確認して下さい。

5 装置の改造、及び純正以外の部品の使用はしないで下さい。 また、部品の破損、摩擦、その他の不具合が認められた場合は直ちに部品交換をして下さい。 そのまま装置を使用し続けると、機能が十分に発揮されないだけでなく部品や装置の破損更に進み、危険な可能性もあります。

6 転倒や運転中の揺れを防止するため、装置は水平な場所に設置して下さい。 または、調節脚で高さを調節し、安定した状態に設置して下さい。 装置に接続されたエアースホースは絶対に引っ張ったり、重量物を載せたり等破損の原因を避けて下さい。

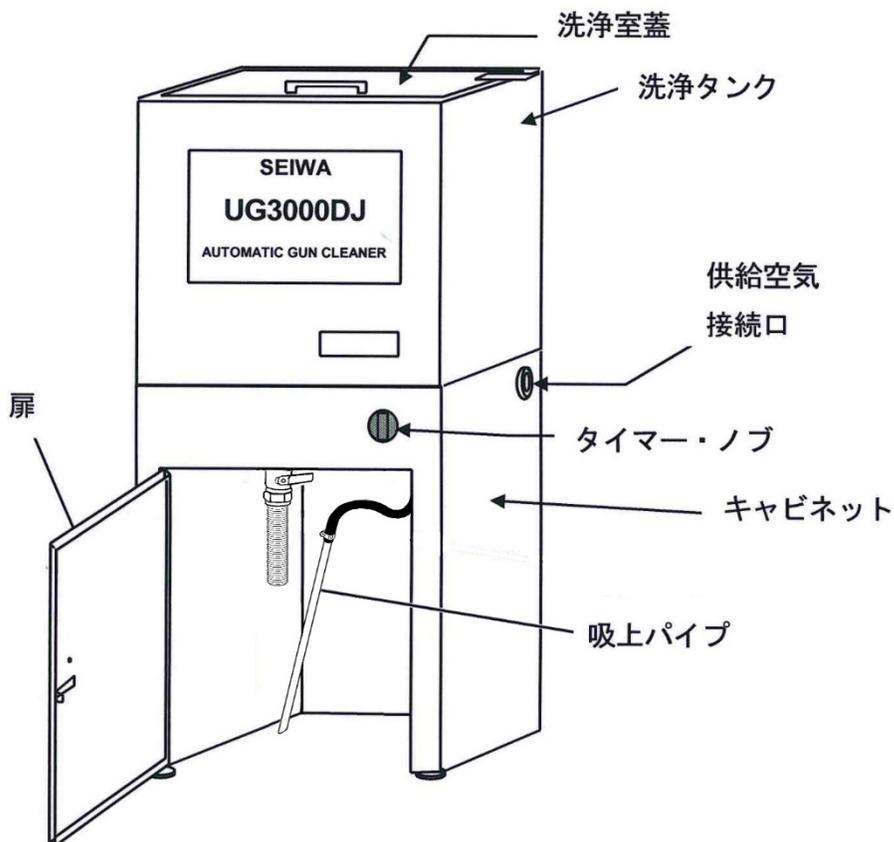
7 装置の修理・保守を行う場合は、洗浄室内の洗浄液が容器に回収され、タイマーが停止位置にある事を確認し、供給空気を遮断してから行って下さい。

8 洗浄液は早めに交換して下さい。汚れた洗浄液を使用すると、洗浄効果が著しく低下するだけでなく、ジェットが目詰まりやポンプの故障、破損の原因となります。

1. 仕様

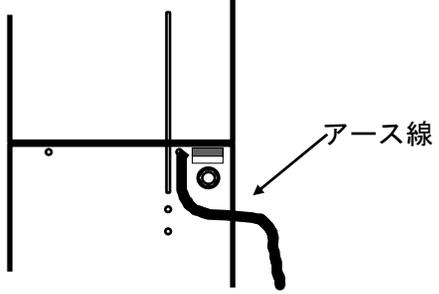
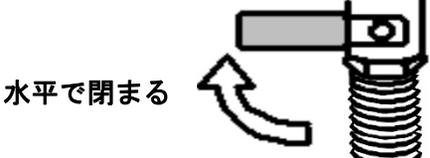
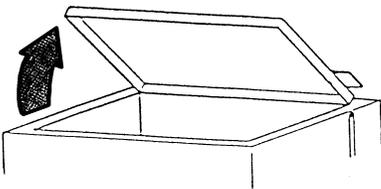
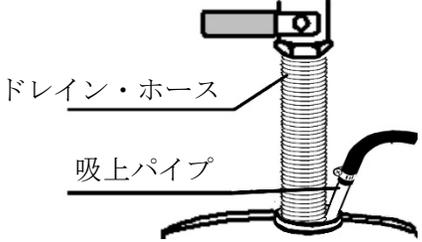
| | |
|----------|---|
| 形式／名称 | UG3000DJ 自動スプレーガンウォッシャー |
| 駆動源 | 圧縮空気 |
| ポンプ型式 | 自動復動装置付きエア駆動式ダイヤフラム・ポンプ |
| タイマー方式 | ゼンマイ式メカニカルタイマー に依る、空気弁の作動 |
| 設定洗浄時間 | 約45秒間 |
| 供給空気圧力 | 0.49 ~ 0.59Mpa (5 ~ 6kg/cm ² 時) |
| 使用空気消費量 | 50 ~ 60リットル/min (空気圧 5kg/cm ² 時) |
| 洗浄液吐出量 | 約8リットル/min (空気圧 5kg/cm ²) |
| 洗浄液タイプ | 洗浄用シンナー、水性洗浄液 |
| 空気接続金具 | Rc1/4、1/4“インチ (メネジ) |
| 操作方法 | タイマー・ノブに依る、手回式 |
| 適合缶 | 18リットル角形缶、20リットル・ペール缶 |
| 洗浄室と蓋材質 | ステンレス・スチール |
| 洗浄液配送管材質 | ステンレス・スチール |
| 寸法及び質量 | 全長350×全幅440×全高990 (mm) 約22kg |
| 環境温度範囲 | 5℃～40℃ |

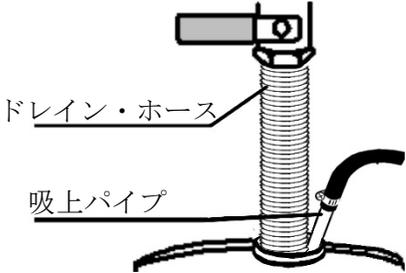
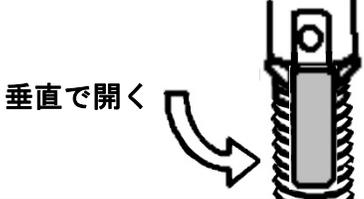
2. 製品構成と各部の名称



3. 使用方法

3-1 設置と準備

| | | |
|---|--|--|
| 1 | <p>換気が良く、近くで火気やスパーク等の可能性のない場所に設置して下さい。 床面が平らでない場合、調節脚で高さを調節し、装置が安定した状態にしっかりと設置して下さい。 換気の不十分な狭い場所に設置すると、飛散したミストなどに引火したり、作業者が有機溶剤中毒にかかる可能性があります。</p> | |
| 2 | <p>装置に付属しているアース線を利用して、アースの接地を必ず行って下さい。 また、装置が少々動いてもアース線が引っ張られる事のない様に配線して下さい。アースは必ず導通性のある物（金属性の水道管など）にしっかりと接続して下さい。 アースが不十分ですと静電気のスパークによる爆発や火災の可能性あります。</p> |  |
| 3 | <p>本体右側のエア入口ジョイントへ、エアホースを接続します。 圧縮空気供給用のホースは、緩まない様、また空気漏れが起きない様に、しっかりと装置に接続して下さい。また、ひびや傷が付いたり、劣化したホースは危険ですので使用しないで下さい。 作業中にホースが外れたり、切れたりした場合、危険なホースの暴れを起こす可能性があります。 供給空気中に、錆、過分の水やゴミ等がある場合は必ずフィルター・セットを取り付けて下さい。</p> <p>注意： 空気圧力は0.49～0.59MPa {5～6kg/cm²} で使用して下さい。圧力が高すぎると装置の作動不良、故障・破損などの可能性があります。</p> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>供給空気圧</p> <p>5-6 Kg/cm²</p> </div> |
| 4 | <p>扉を開き、ドレイン・バルブが閉まっている事を確認して下さい。（バルブ・ハンドルが水平位置になっています。）</p> |  |
| 5 | <p>洗浄室の蓋を開けて、中に梱包材や他の異物があれば取出して下さい。</p> |  |
| 6 | <p>洗浄液が十分に入った洗浄缶（18リットル角形缶、20リットル・パール缶）に吸上パイプとドレイン・ホースを取り付けます。</p> |  |

| | | |
|---|--|---|
| 7 | 洗淨液容器を、ドレイン・バルブのほぼ直下に来る迄、キャビネット内に押し込みます。 |  |
| 8 | ドアを開け、洗淨室下のドレイン・バルブを垂直の位置にして開きます。 |  |

3-2 洗淨作業

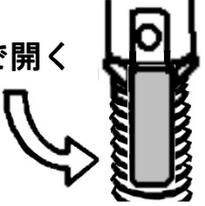
注意、及び警告

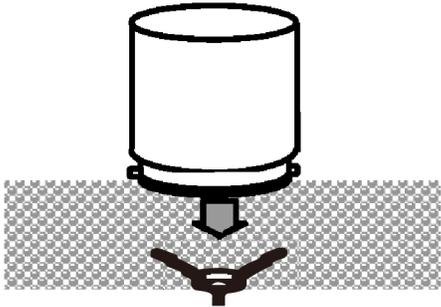
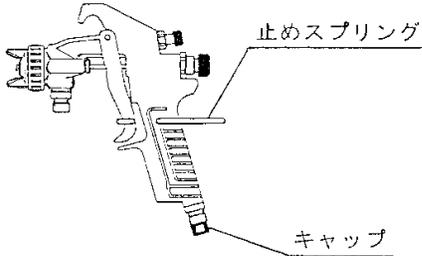
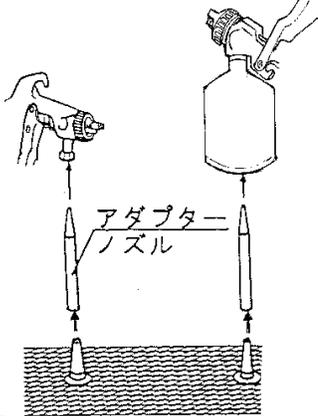
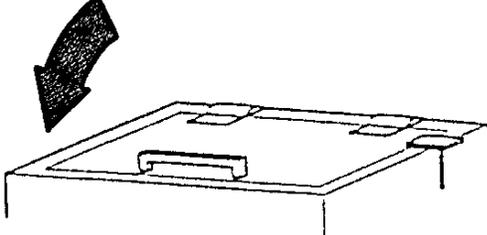
火気のある場所近くでは絶対に使用しないで下さい。
特に下記の物は着火源となる可能性があり、非常に危険です。

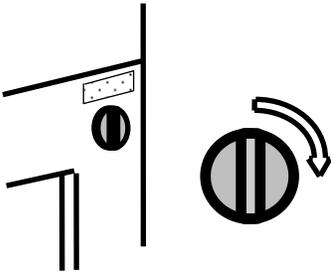
- * タバコなどの裸火
 - * ストーブ、ランプ及びヒーターなどの電気用品
 - * ドリル、サンダー、及びグラインダー等の工具類
- その他爆発や火災の原因となる物

次の様な反応硬化型の液体を使用した塗装機器の洗淨をする場合、必ず一度テストして、問題のない事を確認して使って下さい。 装置内部での固化、反応熱などにより装置の故障・破損の原因となる事があります。

- ポリウレタン樹脂塗料
- 不飽和ポリエステル樹脂塗料
- エポキシ樹脂塗料

| | | |
|---|---|---|
| 1 | <p>洗淨室下のドレイン・バルブを開きます。 (ハンドルが垂直位置になります。)</p> <p>注意： ドレイン・バルブを閉めたままで装置を作動するとポンプが空転され、ポンプの故障・破損の原因となる事があります。</p> | <p>ハンドルが垂直で開く</p>  |
| 2 | <p>塗料カップ内に残った塗料を別の容器に、出来るだけ完全に戻して下さい。</p> <p>洗淨は塗装作業終了後、出来るだけ早く行うことが大切です。 塗装が硬化してしまうと、洗淨出来なくなる事があります。</p> |  |

| | | |
|------------|--|---|
| <p>3</p> | <p>塗料カップを逆さまにして、ジェットの上にセットして下さい。</p> <p>塗料カップが片寄った位置になり、効果的に洗浄されない事がない様に、カップ・アダプターが採用されています。</p> <p>※カップ・アダプター（品目コード 419123）</p> |  |
| <p>4</p> | <p>スプレーガンの引金を引いた状態で<u>止めスプリング</u>で固定します。</p> <p>止めスプリングを使用しないと、スプレーガンの内部の塗料通路の洗浄が出来ませんので、必ず止めスプリングを使用して下さい。</p> |  |
| <p>5-1</p> | <p>スプレーガンをノズルにセットします。</p> <p>圧送式ガン、または上カップ付きガンの場合はアダプターノズルを使って、ノズル部にセットして下さい。</p> <p>上カップ付きガンは、逆さにセットする事になりますので、タンク内部に装備されているテーパープラグをガンの空気ニップルのあなに確りと押し込んで下さい。</p> |  |
| <p>5-2</p> | <p>洗浄運転中にテーパープラグより出る微小の空気でガンの内部が加圧され、汚れた溶剤がエア・キャップからガンの内部に侵入するのを防ぎます。</p> <p>上カップ付きガンにテーパープラグを装着せずに洗浄すると、ガン内部に溶剤が流入しパッキン類が破損することがあります。</p> |  |
| <p>6</p> | <p>洗浄室の蓋を閉めます。</p> <p>蓋がしっかりと閉まっていないと安全装置が働き、ポンプは作動しません。</p> |  |

| | | |
|---|--|--|
| 7 | <p>洗浄液容器を、ドレイン・バルブのほぼ直下に来るまで、キャビネット内に押し込みます。</p> <p>タイマー・ノブを時計方向に止まるまで回して洗浄を開始させます。洗浄は一定時間（約45秒）後完了し、ポンプは自動的に停止します。</p> <p>※タイマーは自動停止するまで廻さないようにして下さい。無理にタイマーを切ろうとすると、故障の原因となります。</p> <p>注意：装置作動中は絶対に蓋を開けないで下さい。</p> <p>洗浄液が装置外にあふれ出し目などに入る可能性があります。危険です。</p> <p>装置作動中に誤って蓋を開けると安全装置が働きポンプが停止します。再度装置を作動させる場合は、蓋をしっかりと閉めてからもう一度タイマーをセットして下さい。</p> | <p style="text-align: right;">タイマー・ノブを 右にまわす</p>  |
| 8 | <p>洗浄後は清潔な布で拭き取り、更にガン内部の濯ぎが必要な場合は、空気を接続して塗料カップに少量のシンナーを入れ空吹きすると効果があります。</p> | |

4. 保守・点検

注 意

- * 保守・点検作業は装置内の洗浄液を総て回収し、供給エアを遮断してポンプを止めてから行って下さい。高圧力の洗浄液が飛び出す可能性があり、非常に危険です。
- 洗浄液は早めに交換して下さい。過度に汚れた洗浄液を使用し続けると、洗浄効果が著しく低下するだけでなく、ジェットが目詰まりやポンプの故障、破損の原因となります。
- * 固形物が混入された洗浄液を使用すると、ポンプの故障・破損の原因となります。
- * 正常な使用法をしているのに、洗浄能力が低下してきた時は、次項の故障対策を参照して対応して下さい。

作業毎に次の保守・点検を行って下さい。

- 作業終了後は洗浄室内の洗浄液を総て回収し、ドレンバルブを閉めて下さい。（ハンドルを水平位置にする。）シンナー缶などの洗浄液容器に回収した洗浄液は、専用の蓋をして安全な場所に保管して下さい。
- フィルターマットは過度に汚れる前に定期的に交換して下さい。過度に汚れると目詰まりをおこしフィルターの働きをしなくなりますので、ポンプの故障、破損の原因となります。
- 金網は常に清潔に保ようにして下さい。
- ポンプ部からの液漏れがないかを点検して下さい。液漏れが認められた場合、ポンプの交換が必要な可能性もあります。

5. 故障と対策

| 現象 | 原因 | 対策 |
|------------------------|--------------------------------|--|
| 洗浄能力の低下、または洗浄スピードが遅い | ● 空気圧力が弱い。 | ● 空気圧力を上げる。 但し 0.78 Mpa (8 kg/cm ²) 以上は上げないで下さい。 |
| | ● 汚れによる洗浄通路の詰まり | 洗浄室内の掃除、ゴミ、塗料、カスを取り除く。 |
| | ● フィルターマットの汚れ | 新しいフィルターマットと交換する。 |
| | ● ノズルやジェットが目詰まり | ● 取外して詰まりを除去する。 |
| | ● 洗浄液の不足 | ● 洗浄液を追加する。 |
| | ● 洗浄液の過度の汚れ | ● 洗浄液の交換 |
| ポンプが空運転する | ● ドレイン・バルブが閉じている。 | ● ドレイン・バルブを開く。 |
| | ● 洗浄液の不足 | ● 洗浄液を補給する。 |
| | ● 洗浄室の汚れ | ● 汚れ、塗料カス、詰まりを取り除く。 |
| | ● パイプの詰まり | |
| | ● ポンプの故障 | ● ポンプを交換する。 |
| ポンプが作動しない。 | ● 蓋がしっかり閉まっていない。 | ● 蓋を閉める。 |
| | ● タイマーの故障 | ● タイマーを交換する。 |
| | ● ポンプの故障 | ● ポンプを交換する。 |
| シンナーが洗浄室の蓋の周囲から吹きこぼれる。 | ● 蓋がしっかり閉まっていない。 | 洗浄室の開口部周囲にペンキや異物が付着していないか確認をして蓋を閉める。 |
| | ● 供給空気圧が高すぎる。 | ● 空気圧を下げる。 |
| | ● ポンプのダイヤフラムに穴が開いて空気漏れを起こしている。 | ● ポンプを修理するか、交換する。 |
| ポンプが止まらない。 | ● タイマーの故障 | ● タイマーを修理か、交換する。 |

注 意

ポンプ内のパッキンやバルブは特殊工具により組み立てられている為、お客様による部品交換は困難です。ポンプセットのアッセンブリー交換をして下さい。

ガンウォッシュの使用開始前に必ず下記空欄に必要な事柄を記入してください。
点検の時に大変役に立ちます。

| 項目 | ご記入欄 | | |
|------------|-----------|----------------|---------|
| 型式 | UG-3000DJ | ご使用開始 年 月 日 | |
| 製造番号 | | ご購入先 | TEL () |
| ご購入 年月日 | | | |

アフターサービスについて

保証規定

1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

ユーザー登録について

～保証対象の確認および、速やかな保証対応のために、機械購入時にユーザー登録をお願いしています～
同封の保証書に必要事項をご記入いただきFAXいただくか、弊社ホームページ経由でも受付をしています。
ホームページ経由でご登録いただきますと、ご購入いただいた商品のメンテナンス情報、関連する付属品、
便利なオプション品情報、新商品情報など、定期的に情報配信をさせていただきます。

是非、この機会にご利用くださいますようお願いいたします。

- ・登録場所/精和産業トップページ右側中段「機械ご購入者様用・保証書ユーザー登録」

<https://www.seiwa.com>

ここからも登録できます→



修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

| | | | | |
|---------------|----------|------------------|-----|---------------|
| 仙 台 | 981-1105 | 仙台市太白区西中田6-15-13 | 携 帯 | 090-3212-9902 |
| 群 馬 | 371-0854 | 群馬県前橋市大渡町1-8-6 | 携 帯 | 080-1838-8248 |
| 東 京 | 136-0072 | 江東区大島5-12-7 | TEL | 03-3638-6911 |
| 神 奈 川 | 242-0029 | 大和市上草柳8-28-18 | 携 帯 | 090-7404-1915 |
| 名 古 屋 | 453-0839 | 名古屋市中村区長筈町4-15 | 携 帯 | 080-1838-8248 |
| 大 阪 | 547-0001 | 大阪市平野区加美北8-1-18 | 携 帯 | 080-1838-8248 |
| 岡 山 | 710-0841 | 倉敷市城南606-1 | 携 帯 | 090-8855-1690 |
| 福 岡 | 816-0912 | 大野城市御笠川1-8-7 | 携 帯 | 090-8855-1690 |
| エス・ディー ツール | 891-0175 | 鹿児島市桜ヶ丘2-22-10 | 携 帯 | 090-2515-0068 |
| 塗機商事 | 903-0124 | 中頭郡西原町呉屋108-6 | 携 帯 | 080-1794-4141 |